

# 学校間連携総括・評価表

項目	平成26年度 総括・評価の観点 [評価基準欄の数値は 改善・他のチェックの数]	評価基準		
		継続	改善	その他
1 学校間連携会議	1 学校間連携会議の組織について	3		
	1 組織体制について(組織図含めて)	15		
	2 役員体制について	15		
	3 部会体制について	15		
	4 特別委員会について	11	3	2
	5 その他	8		
2 各会議	1 全体会議	1		
	1 会議の開催日程について(回数、日時 他)	11	3	1
	2 会議の進め方について(進行方法等)	11	3	1
	3 活動計画について(目的・効果の設定等)	14		1
	4 その他	8		
	2 事務局会議	2		1
	1 運営について	13		1
	2 活動内容について	13		1
	3 その他	7		
	3 各部会	1 連携部会	2	
1 部会運営について		14		
2 活動について(各学校課題の共有化, 市経理予算の執行調整, 道費旅費配当調整)		11	3	
3 努力目標について(富良野市の学校間連携を考察する)		13	1	
2 財政部会		2		
1 部会運営について		14	1	
2 活動について(共通要望, 備品の管理活用, 教育白書)		11	4	
3 努力目標について(富良野市としての組織的実践を推進する)		13	2	
3 情報部会		2		
1 部会運営について		14		
2 活動について(連携だよりの発行, HPの管理運営, 連携会議の記録)		13	1	
3 努力目標について(各校実践の集約・交流)		13	1	
4 特別委員会		1 教職員の諸権利	2	
	1 運営について	11	3	1
	2 活動内容について	12	2	1
	2 富良野市学校実務要覧	2		
	1 運営について	11	2	1
	2 活動内容について	12	1	1
5 事務局	1 事務局について	1		
	1 運営について	12	1	1
	2 活動について(市教委との事前協議, 会議開催調整, 年間活動計画, 機密文書廃棄集約, 総括評価表, 各部会との連絡調整, 外部評価の検討, 各部会に属さない業務)	12	2	1
	3 富良野市学校間連携会議としての職務の明示に向けた調査検討	10		5

## 学校間連携総括・評価表

課題と改善方法 (「特に問題が無いので改善の必要がない」のスタンスには立たず、改善に向け能動的にとりくもう)

観点番号	意見
(全項目について)	基本的に全項目にわたり、継続という形になろうかと思えます。各部会・特別委員会内での確認及び協議が重要になると思えます。
1-1-4	今年スタートした特別委員会なので、当然「継続」という前提で、次(次年度)に向けた各委員会内での協議が重要！
1-1-4	とりくみ内容が理解できていないので・・・
1-1-4	4-1-1でも書きましたが、「富実」(市外転入者にはこちらは大事だと思います。) 「教職員の権利」の2本が必要なかどうか。
1-2	会議の進行や事前の連絡調整など早めにとりくんでいただきありがとうございます。教育委員会両係長の積極的参加はよかったですと思えます。
1-4	学校実務要覧を少しずつ進めていきたいです。
2-1-1	今年度は5月からの開催でしたが、来年度は4月からの開催を頑張りましょう。
2-1-1	午後の2時～4時30分の2時間30分の開催は良い。ただし、議題の内容によっては、30分早めて13:30からの開催で。今年は5月からでした、やはり4月から開催し、年間10回。ただ、そのうちの2回程度は部会優先の内容でどうか。
2-1-1	議題によっては回数を減らすなどの対応も可能ではないか？今年度も実務研・事例研がほとんどの回もあったと思えます。それらについては市教研事務班の回数を増やすなどして、さらなる研修充実に振り向けてはどうか。
2-1-1	可能であれば、1月と3月に会議があれば良いと思えます。(みなさん、忙しい時期で難しいとは思いますが・・・)
2-1-1・2・3	学校の取り組み交流について必要でしょうか？紙面交流でいいのではないかと感じます。
2-1-2	全体会議の進め方はよいと思えます。実践を語るとボリューム大になるのは当然かもしれませんが、各校からの交流は話が長いです。
2-1-2	司会として1年間上手く進行出来なかったことはすみません。各部会での協議に重きを置く回を作り、部会内での協議を深める必要もあるのかなと思いました。また、議事の順番も少し組み替えを行ってもいいかなと思いました。
2-1-3	年間計画を作成の際に、他の研修会等との十分な調整をしながら設定する。
2-2	事務局会議については時間的に厳しい中ではあるものの、事前協議を中心に進められていると思えます。
2-2	今年度会議の司会を事務局・小林さんということで固定されていましたが、事前にレジメも配られ、討議内容も知らされていますので、会員の輪番でも構わないのかなと思いました。毎回司会では小林さんも大変だったと思えます。会議を取りまとめる方も事務局職員の力量の一つだと思いますので、身内での会議でもありますし、それぞれ場数を踏んでいけたらいいのかなと思いました。
3-1-2	道費旅費については、執行内容も含めて早めの調査をし、学校ごとから、市内の小・中で課題を共有し、次年度に一定の方向を出して欲しい。
3-1-2	旅費の調整について、委員会でを行うのか連携会議で行うのかよくわからなかったのも、どちらか1本にしてほしいです。
3-1-2	昨年度までと取り扱い変わったのですか？これまでよりものすごく複雑に感じました。
3-1-2	事務センターの調査の仕方に問題があると思えますが、費目を分けて同じ調査を何度も行ったような・・・。集約する藤崎さん・石田さんに負担がかかり気の毒に感じました。何とか改善できないでしょうか？旅費の調整自体は非常に助かりました！
3-2	自分自身が部会内で腰を据えて活動ができませんでした。すいません。
3-2-2	年間のサイクルを部会として提示して欲しい。とくに共通要望のために予算要求活動については、今後丁寧な年間サイクルを作成していただきたい。
3-2-2	旭川で備品台帳の整備、備品管理の徹底(現物照合を含めた監査)の取り組みがなされており、それに習って本校でもと計画しました。しかし本校では昨年度まで備品点検がなく、エクセル版備品台帳が備品点検用に印刷できない等の問題があり、点検を行う準備に非常に苦労しました。市教委に備品台帳の改善(連携会議で行うためパスワードロックを解除)は可能なのか問い合わせ中。
3-2-2	予算要求(共通)への対応が難しかったです(デジタル教科書)。他校とのギャップが大きいと認められる場合、どう対応すべきなのか・・・。
3-2-2	デジタル教科書の共通予算要望については、事前にもっと話し合いが必要でした。
3-2-2	机・椅子の調査を行ったが、今後、更新や活用のしやすい形を考えたい。
3-3-3	予算要望の取り組みの資料の収集と交流を情報部会で行いましたが、内容は財政部会と重なるところもあるので(要望書のとりまとめは財政?)、このことに限りませんが業務量を考慮して分担を明確にしていきたいです。
4-1-1	この取り組みはその煩雑さに対して、時間的余裕があると言えるのかどうか・・・。事例研修(市教研?)に重点を置いて難しい案件、間違えやすい点に対応できるようにしてはどうかとも思えます。
4-1-1～2	教職員の諸権利の、休眠していた活動だったこと・年度途中からの開始ということ・エクセルわからない等々の理由から改編していく自信がありません。富良野独自を含めて参考資料を積み重ねていくにはならないでしょうか。(あとは北実)
4-1-1・2	とりくみ内容が理解できていないので・・・
4-1,4-2	改訂作業はとても大変ですが、継続のために連携会議全体でもより良い方法を今後も考えていく必要があると思えます。
4-2-1	他の市町村から転入してきた事務職員にとって、これが完備されていると非常に心強いです。ただし非常に手間がかかるし、連携会議だけで完結できないものもあると思われます(財務会計システム、サイボウズ)。市役所、市教委の協力を得ることは不可能でしょうか。
5-1-1・2・3	とりくみ内容が理解できていないので・・・
5-1-3	アンケートを取った後の集約、考察が遅れてしまったので、次回はもっと早くに行います。
5-1-3	調査結果を今後の学校間連携会議に活かせるようにすることが大事だと思います。
5-2-3	「富良野スタンダード」はこれも転入者にとって非常に興味深い調査だと思いますが、深く追求するための時間がないところが残念です。

## 学校間連携総括・評価表

各部会にとりこんでほしい内容・課題

部会名	内 容 ・ 課 題 他
財政部会	<p>・今年度の取り組みで飽和状態ではないでしょうか？白書まで導いていくのはつらそうに思いました。</p> <p>・富良野に必要なのはとにかく予算だと思います。今後、現政権による新しい教育への課題が次々に与えられ、その対応に右往左往するような気がします。「学力向上と道徳」という新しい方針の徹底のため、多くの予算が必要となるのではと思われます。</p>
連携部会	<p>・市費配分予算・旅費に係る運用についての意見交流・まとめを行いました。次年度はまとめから導き出された内容を年度当初に再度提案し、一定程度の方向性を有して、全市的運用を図っていかれたらと思います。</p> <p>・(連携部会かどうか?)今年度、他市町村からの転入は私1人だけだったのですが、「富良野市のしきたり」のようなものを習得できるまで非常に苦労しました。どこの町でも同様かとも思いますが、サポートできる体制を明確にしてはどうかとも思います。</p>
情報部会	<p>・予算要望の取り組みについて交流がなされました。予算要望は通年を通した事務職員の主たる職務内容ですので、それぞれの考え方を聞いて自分に生かす・自分を高めることにつなげられたらいいと思います。</p>

## 学校間連携総括・評価表

再編試行1年間の取り組みを行っての反省点・改善点などご意見を。

- ・今年度は組織改革初年度ということで、基本的に継続とし取り組む必要があると考える。
- ・再編試行1年目ということで、各部とも本当に精力的に取り組みを行ったと思います。逆に頑張りすぎた観もあったかもしれません。情報の共有化では、連携部会・情報部会において観点を分けて取り組みを進めていましたが、学校数も多く、一度の討議では終わらないなど、情報の渋滞が起っていました。十分に話し合わなければならない部分も多々ありますが、ポイントを絞る、発言・発表は端的に要点を絞って、できれば全員発言の機会を会議に一度は設定するなど、活発な意見交流を求めたいと思います。
- ・基本的に、再編成をした1年でしたので、多くの内容は継続となると思います。次年度は、1年間の早めの計画作成が大切と思います。
- ・各部会・事務局の努力目標に関わる取り組みについて、取り組みが予算要望に関わることに集中してしまい、また部会の活動とも重なってしまった。また内容についても研修的な内容であり、これらについては市教研事務班研修(又は上事協ブロック研など)で行っていった方がすっきりするのではないか。(もちろん研修で合意がなされたことを連携会議として行っていく事については異を唱えるところではありません)
- ・振り返ってみると、慌ただしい1年だったと思います。その中でも、模索しながら各部会を中心に多くの実践を行ったと思います。1年目の分析を来年度以降に活かしていくことが必要だと思えます。
- ・事務局業務の負担が大きいところを、うまく分担が出来たらと思いました。
- ・今後も基本、継続……少しずつ調整・改善しながら取り組んでいけるといいと思います。

## 学校間連携総括・評価表

フリーゾーン

(何でもOK～体制・進め方・方法・振り返って・次年度に向けて・不平不満・独り言 などなど)

- ・1年間大変お疲れ様でした。
- ・現場の強み、弱みも教育委員会と意見共有できる関係が最善だと思います。今年度から両係長も加わっての会議がとても刺激的で軽い緊張感の中進められたのが良かったと思います。
- ・なぜ、再編が必要だったのか。再編したのか。  
いままでと同じ活動では、富良野市学校間連携会議が停滞し、次への展開ができなかったからだと思います。  
次年度も、やらねばならないことが多く、大変な時期と思います。が、市内のオールのメンバーで知恵と時間を出し合い、効率化といままで培ってきた「領域としての学校事務」を「教育環境整備」へ繋げる、一方策としての「学校間連携(会議)」の確立をしたいですね。  
この評価の中で、年間サイクルを見直し、課題を共有し、2016(H27)年度に向けてとりくみの継続と計画を実現するための個々人の意見を出し合いましょう。
- ・正直なところ、授業を行うための環境整備に非常に苦労しており、その予算確保がままなりません。彼の地では当たり前だった環境(いくら予算が無くても最低限必要なはずのもの)が整えられない気がします。転勤による意識的なギャップの影響も大きいのですが、教員からの要望もあり、今年度はその対応に追われました。  
その中でも、日常使用の消耗品の支給や燃料費の執行について皆さんにご意見をいただいて、自校の運営に役立てることができました。今年度については非常にうまくいきました(来年度から心配です)。感謝申し上げます。
- ・再編1年目の活動、大変お疲れさまでした。ごちゃごちゃ感がありました。来年度からはもう少しすっきりしますね。
- ・「シンプル イズ ベスト」を望みます。
- ・事務局の取り組みの遅れから皆様には大変ご迷惑をおかけしました。次年度体制がどのようになるかは加配申請結果が出るまでわかりませんが、早めの対応を心がけていきたいと考えています。
- ・会議に教育委員会の方に参加してもらえると、新たな情報を教えてもらえたり、考え方がわかったり、とても良かったと思います。今後も、会議に参加してほしいです。
- ・再編1年目でありながら、活発に活動していたと思います。しかし、再編1年目ということで業務が整理しきれていない部分もあったと思うので、今回の総括をしっかりと行い、来年度以降さらに発展できるようにしていくことが必要だと思います。
- ・皆様に教えていただきながら、多くのことを学ばせていただきました。ありがとうございます。本校は来年度以降も事務職が不在となる予定です。教頭の異動のたびに、事務未経験の教頭が担当することが予想されることから、事務職未配置校への、支援体制についても何かあるとよいかないとしました。
- ・事務局はじめすべての部会・特別委員会は、正直イッパイ、イッパイのところだと思います。効率に走るわけではありませんが、選択と集中などしていける方策はないものかと考えてしまいます。
- ・部会について、富良野市にいる間(6年間を想定)で3部会をすべて経験できるような体制をつくれませんか。「総括・評価」において、例年『他部会がどんな取り組みをしているのかわからない』という意見が例年散見されるため。

※来年度に向けて課題とその改善方法が明らかにしやすいものが必要という観点で作成しましたが、総括評価表の良し悪しもフリーゾーンなどにコメントください。